

第1回 新庄市道の駅検討委員会 会議録

開催日時	平成29年7月24日(月) 午前10時から午前11時45分まで
開催場所	新庄市役所3階 議員協議会室

出席者(敬称略・順不同)

・委員(10名)

No.	氏名	所属団体	備考
1	佐藤 慎也	山形大学学術研究院 教授	委員長
3	笹木 透	新庄もがみ農業協同組合 営農経済部長	
4	大場 清文	新庄商工会議所 専務理事	
5	津藤 真知子	株式会社もがみ物産協会 専務取締役	
6	大類 好一	新庄観光協会 事務局長	
7	鳥村 成実	有限会社トランスオーシャンツーリスト 専務取締役	
9	樋口 修	エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会 実行委員長	
10	金田 肇	株式会社山形銀行新庄支店 支店長	
11	金田 孝司	一般社団法人山形県建設業協会最上支部 副支部長	
12	伊藤 元昭	新庄市副市長	副委員長

(欠席委員2名)

・アドバイザー(3名)

No.	氏名	所属団体
1	河本 直志	国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所調査第二課 課長
2	前田 真一	国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所交通対策課 専門職
3	菊地 昭雄	山形県最上総合支庁建設部建設総務課 副主幹

・コンサルタント(2名)

No.	氏名	所属団体
1	黒川 朋広	ランドブレイン株式会社仙台事務所 所長
2	山路 省一郎	ランドブレイン株式会社仙台事務所 室長

・事務局3名

No.	氏名	所属団体
1	土田 政治	新庄市都市整備課 課長
2	外塚 智	新庄市都市整備課 都市計画室長兼高速道路対策室長
3	日塔 涉	新庄市都市整備課 主事

会議事項

(1) 開 会
(2) 委員長あいさつ
(3) 自己紹介
(4) 副委員長選出
(5) 道の駅の概要及び最近の動向について 講師：国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所調査第二課 課長 河本 直志氏
(6) 協議事項 ①新庄市道の駅外部検討委員会について ②意見交換 ③その他
(7) 閉会

委員長指名

新庄市道の駅外部検討委員会設置要綱第5条第2項にもとづき、市長より指名
委員長 佐藤 慎也委員に決定

(あいさつ)

今までの道の駅の良い事例や悪い事例を踏まえて進化形の道の駅について議論を進めさせていただければと思います。新庄市では学生の教育実習でもお世話になっており、新庄市では温かい指導を下されると生徒の人気のある場所でもあります。ユネスコに登録された新庄まつりを含めて、海外からの誘客も増えるということで、ソフト面が大きな鍵になるのではないかと感じております。忌憚ない意見を頂戴できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介

順番に自己紹介を行った。

副委員長指名

新庄市道の駅外部検討委員会設置要綱第5条第3項にもとづき、委員長より指名
副委員長 伊藤 元昭委員に決定

道の駅の概要及び最近の動向について

<質疑応答>

委員長 事例紹介であった川場田園プラザは従来の道の駅よりもグレードアップしてるように感じたが、どのような整備手法で行ったのか。

国 お調べしたいと思います。

協議事項

①新庄市道の駅外部検討委員会について

<質疑内容>

- 委員 前段の道の駅外部検討委員会の任命式での市長のあいさつの中で、最上ブランドという話があった。事務局の話だと、新庄市だけで話をしている気がする。例えば、新庄市だと新庄まつり、舟形町だと縄文の女神などがある。新庄市だけで考えた方がいいのか。最上地域全域を含めて検討した方がいいのか。
- 事務局 道の駅の検討については、新庄市独自の部分と県から主導していただいている最上地域での道の駅検討の2本立てになっている。今回の検討委員会について、広域的な部分ではない新庄市の道の駅に関してご検討をいただきたい。
- 県 最上地域での道の駅の勉強会及び検討会を開催し、全体の方向性を検討している。具体的には、道の駅をネットワークで結び、最上全体をPRできるかということを検討している。この最上地域の道の駅検討会に関しては今回の検討とは別で考えていただければと思う。ただ、道の駅ネットワーク構想の方向性のいくつかを、このたびの新庄市の基本構想に反映させていただければと思う。
- 委員 道の駅の設置数については、新庄市で1つ、最上地域で1つの設置を検討しているのか。
- 県 現在20駅ある道の駅を2020年度までに山形県内での30駅の道の駅設置を目指している。最上地域は現在1つしかなく、道の駅の密度が薄い。「道の駅」を活用して最上地域全体での産業振興などを目指して、各市町村に働きかけをしている。今は最上地域内で道の駅が8つできることを念頭に検討している。
- 委員 整備手法の一体型、単独型についてわかりやすく説明してほしい。
- 国 単独型はすべて自治体負担。一体型は、自治体と道路管理者（国や県）が協定等を結びながら負担等を案分しながら行うこととなっている。
- 委員 一体型の場合の道の駅の設置条件は何か。
- 国 基本的には国道に面しているところは国との一体型、面しているところが県道であれば県との一体型で整備できる。コンセプトにあった場所、及び交通量も重要になってきます。
- 委員 検討を進めていく中で、市役所内部の擦り合わせ（会議）が必要なのではないかと。外部委員会と内部ですり合わせをしないと、すでに内部で検討している事項があると外部委員会として十分な検討ができないのではないかと。
- 事務局 平成28年に内部で検討した事項を踏まえて、コンサルタントと協力しながら、次回以降の外部検討委員会に案を提示し、さまざまご検討いただきたい。
- 委員 外部委員会でいろいろ検討しても、市役所内部ですでにほとんど決定しているケースが見受けられるので、外部検討委員会での検討と内部での検討をうまく調整してもらいたい。

※資料4⑤本委員会の名簿及び議事録公開については各委員から了承を得た。

②意見交換

- 委員 最上地域はなかなかまとまるようでまとまらない。新庄市だけの負担が大きくなるようでも好ましくない。道の駅設置に考えるとき、魅力を出すためにはどのようにしたらいいのかを最初に考えるべき。地元以外の利用だけでは難しい。地元利用者が重要だ。
- 委員 最上地域に道の駅が必要だということを発端に様々な検討してきた。県でも重点道の駅へ検討をしていることを心強く思っている。例えば、国宝指定された縄文の女神を活用した施設の検討について、関係機関への申し入れを行った経緯がある。今後の検討会でも勉強させていただければと思う。
- 委員 交通量等の基本的な調査内容を踏まえた検討をしていく必要がある。
新庄市の道の駅を最上地域の中心的な施設にして、若者が活躍できる魅力ある道の駅にしていきたい。
- 委員 一体型と単独型のメリット・デメリットは？
国 一番は費用負担が異なる。単独型に比べ、一体型の方が、費用は道路管理者（国、県）が一部負担できる。
- 事務局 整備手法の前に、候補地の選定をしていく中で、一体型がいいのか単独型がいいのかという話になってくる。それぞれのケーススタディに合わせて検討したい。現時点で、どちらがいいということは決定していない。
- 委員 一番の問題は、運営主体をどうするのかということ。自治体、第3セクターという方法もあるが、あまり好ましくない。新庄市としては一体型の整備手法で進めていきたい。ただ、候補地については、様々な条件を検討しながら一体型で進めていければと思う。
- 委員 新庄・東根間の高速道路が開通した場合に、利用者のトイレ休憩を考えると現状では尾花沢（道の駅ねまる）しかない。候補地については高速道路周辺で検討を行うのであれば、新庄IC付近がいいのではないかと。
整備手法については、財政的に一体型でしか検討できないのではないかと。単独型では負担が大きすぎる。行政で行っている道の駅で黒字化しているところはほとんどない。新庄は豪雪地帯であり、除雪費用だけでも大きな負担だ。新庄市だけでなく、最上8市町村で負担できる形でいかに経費をかけずに設置できるかを十分に検討しなければならない。
- 委員 新庄・最上地域の歴史を考えると新庄は交通の要所として発展してきた歴史がある。単純に損益だけで考えるとなかなか話が進まない気がする。広い意味で地域全体に貢献できる施設にするかという案も出していかなければならない。
- 委員 観光面で考えれば、トイレが少ないのは事実であるものの、道の駅設置することで、一定程度の売上を求めなければならないし、既存類似施設への悪影響をすることも心配している。エコロジーガーデンは来年度から文化庁の補助で、改修を予定している。

エコロジーガーデンも候補の1つとは考えているものの、道の駅の構想とエコロジーガーデンの構想とすり合わせについては、疑問視している者もいる。また、道の駅がエコロジーガーデンの足かせになってほしくないという意見もある。ただ、広い駐車場やトイレ整備などの必要性はあるため、新庄市単独でそこまで整備してくれるのかも不透明であり、自分自身の考えは定まっていない。

農産物についても、こだわって栽培している農家の方がたくさんいる中で、新たな産直が増えることで、分散化してしまい、産直の魅力が乏しくなってしまうことを懸念している。

委員 利用者側の視点が見ると、ドライブインが減少している中、トイレ休憩は道の駅に頼っている状況である。道の駅が増加する一方、道の駅間の競争が激化してしまう可能性がある。様々な条件や要因を考えて道の駅を検討しなければならない。

国 道の駅の運用をどうするかが重要になってくる。そこの道の駅でしかできない体験や商品をいかに打ち出していくかが重要になる。

③その他

次回開催は、9月下旬の予定。

(閉会)